

A-Bone、中国と接続

1999年2月12日

株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社アジア・インターネット・ホールディング

株式会社アジア・インターネット・ホールディング（以下AIH、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木幸一）とチャイナ・テレコム（本局：中国北京、局長：Zhang Ligui）は、2月11日、チャイナ・テレコムが運営する「チャイナネット」を、AIHが運営する「A-Bone(*)」に接続することで合意いたしました。接続帯域は2Mbps、接続完了時期は99年3月末の予定です。

チャイナネットは、現在約210万人といわれる中国のインターネット利用者数に対し九割を超える市場シェアをもつ、中国最大の商用インターネットサービスです。今回の合意は、日本をはじめとするアジア各国へのダイレクトアクセスを可能にするA-Boneのサービスが高く評価され、実現いたしました。

また中国へのネットワーク拡大により、A-Boneの接続国は10か国となります。（下表参照）。アジア太平洋地域のインターネットを支える基幹インフラとして、A-Boneは今後とも同地域の発展に寄与していきます。

(*) AIHが構築・運営するアジア太平洋地域のインターネット網。大容量高速回線でアジア各国を接続している。

A-Bone接続国（99年2月11日現在）

日本	FDDI
香港	3Mbps
シンガポール	4Mbps
韓国	1.5Mbps
台湾	1.5Mbps
インドネシア	2Mbps
マレーシア	2Mbps
タイ	2Mbps

フィリピン	2Mbps
中国	2Mbps (1999年3月予定)
